

令和4年度第2回地域包括ケアシステム検討委員会（報告）

日時 令和4年11月21日（月）

13：30～15：20

場所 高梁市役所 2階 保健センター

1 開 会（進行：池田）

2 あいさつ（山根委員長）

高梁市は高齢化率が40%を超え、支援が必要な高齢者が増えている状況で、それを支える担い手の育成などについて地域包括ケアシステム検討委員会で検討してきた。皆さんの活発な意見をお願いします。

※前回欠席で今回が初めて出席の委員の自己紹介

河本委員、村上利委員、濱田オブザーバー

3 協議事項（議事進行：山根委員長）

（1）第1回地域包括ケアシステム検討委員会以降の報告

ボランティア養成講座（西川）

元気なからだづくり隊（西川）

通所付添サポート事業（惣田）

*資料2～4ページ及びパワーポイントにて説明

（質疑応答）

Q. いきいき生活サポーターの登録者数に対して利用者が少ないのはなぜか。

A. いきいき生活サポート事業は、昨年度ボランティアを養成して今年度開始した事業なので、まだ利用申込件数が少ない。今年度のボランティア養成講座でサポーターも増えたので、利用者も増やしていきたい。

Q. ボランティア養成講座の修了者数とサポーター登録者数が違うのはなぜか。

A. ボランティア養成講座全5回を修了した人にサポーター登録をしてもらおうが、受講者の中には自身の教養のための人もいる。また、5日目の養成講座終了後にサポーター登録を募って登録してもらった。すぐには登録するかどうかの結論が出ないので、もう少し考えた上で登録を考えたいという人もいた。

Q. 通所付添サポーターの今年度の養成者29人の年齢はどれくらいか。

A. 平均年齢は60歳を超えている。サポーター養成講習の受講は75歳未満と

されているが、サポーターの高齢化は進んでいる。

Q. 車の乗降などに支援が必要な利用者の対応は、高齢者には難しいこともあるのではないかと。

A. 他市では、車の運転はできないが付添はできるので付添のみをしているという事例もあるので、柔軟な対応をしていきたい。

(2) 個人・グループワーク

*資料6～14ページ及びパワーポイントにて説明（西川）

*発表（板書：笹部）

「介護予防（役割や交流を持つこと）がなぜ必要なのかを広く理解してもらうために」

<1 グループ>

① 何を伝えるか

- ・人とのつながりが孤立の予防になる。
- ・介護予防は楽しいことである。
- ・健康寿命を延ばすには人とのふれあいが大切。
- ・上記のことは自分にメリットがある。

② ①をどのような方法で誰に伝えるか

- ・地域包括システム検討委員会のメンバーが職場等で伝える。
- ・スーパー、郵便局員に活動の現場で伝える。
- ・地域の集まりでパンフレット配布。
- ・ハローワークなどで退職者に伝える。
- ・わかりやすくパロディー動画をつくって放送する。

③ ②の実践にはどのような連携や協力が必要か

- ・身近な知り合いから広げる。
- ・民生委員、福祉委員に声かけをしてもらう。

<2 グループ>

① 何を伝えるか

- ・生涯現役で生活していくことが介護予防につながる。
- ・高梁市の高齢者の現状を伝える。
- ・介護予防した場合としない場合を見える形で示す。
- ・介護予防をすれば介護保険料が安くなること。

② ①をどのような方法で誰に伝えるか

- ・市民全体に伝える。
- ・40～60歳の働く世代に会社の検診などを通じて伝える。
- ・SNSやCMなどで繰り返し伝える。
- ・チラシのQRコードで介護予防関係のホームページにリンクする。
- ・高梁に既存するキャラクター（やま爺など）を活用する。
- ・チラシ、のぼり旗、ポスター
- ・生協の配達にチラシを入れてもらう。(11/21 おやまコープ 江口氏より対応は可能との回答)

③ ②の実践にはどのような連携や協力が必要か

- ・市民センター、地元の人を中心に連携する。
- ・ボランティアをしたいけどできない人は何が障害になっているのか探る。
- ・子供向けの体験イベントに参加している親世代をターゲットにPRする。

<まとめ> (山根委員長)

- ・人と人のつながり、介護予防は、自分らしく生活していく上でメリットがあることをアピールする。
- ・学校、民生委員、専門職、行政すべてが協力して広く広報していく必要がある。
- ・高梁市にはキャラクターが多いので、今存在するキャラクターを活用するのも一つの方法。
- ・今までの地道な活動の継続も必要。

4 その他

高梁市医療・介護市民公開講座の開催について紹介

5 閉 会

第3回地域包括ケアシステム検討委員会

日時：令和5年2月14日（火）10時～

場所：市役所3階 大会議室1・2・3